

平成10年度全国標準積算資料説明会

積算委員会

毎年恒例の東北地質調査業協会主催、各県協会協賛の「平成10年度全国標準積算資料説明会」が今年は5月7～8日の2日間、青森県、岩手県両会場に於いて盛大に開催されました。

特に今年は、赤本「土質調査・地質調査」の改訂時期に当り、「平成10年度改訂歩掛版」が新しく完成し東北管内では初めての内容説明と云うこともあり、両会場共に多数の発注機関、関係業者の方々が参加し成功裡に説明会を行うことができました。ここに積算資料説明会の様子をご報告いたします。

5月7日 青森県会場「青森県観光物産館 アスパム」PM13:00～16:00

当日は朝から雲一つない快晴に恵まれ、気温も急上昇の青森市内では汗ばむほどの陽気でした。

アスパム会場に於いては既にAM10:00から「青森県さく井地質調査業協会」主催の技術講習会が催され、全地連の「矢島専務理事」、東北地質調査業協会「永井理事長、薬丸積算委員長、他積算委員」5名が到着した時には約150名を越える聴講者の方々の熱気が会場内に充満し技術講習会の余韻が強く感じられた。

予定時間通り、積算説明会が開始され、最初に「東北地質調査業協会」永井理事長の挨拶で、日頃発注機関の方々の「地質調査業」へのご理解と御指導ご協力に感謝の意が伝えられました。

今回の積算説明会は「東北地質調査業協会」主催「青森県さく井地質調査業協会」協賛で開催されており、両協会とは緊密な連携を深めておるとの説明と、「東北地質調査業協会」の会員も現在では101社と全国9地区協会中でもTOPクラス

の大きな協会に育っております。今回の青森県での説明会は3年振りであり、5月に説明会を行うのは昨年秋田、山形県に続き2回目です。今後も5月上旬頃開催になる予定である旨の話がありました。

又、全国の各発注機関の方々には、阪神淡路大震災後に於いて「地質調査の重要性」を更に認識を深めて頂いております。今回は全国で最初の説明会開催となりますが、「10年度改訂歩掛版」の説明会を機に積算を行う際は十分にご理解とご活用を賜りますようお願いいたしますとの挨拶がありました。

続いて、全地連講師「矢島専務理事」の説明が行われ、地質調査とはボーリングだけではなく物を作るには安価なものをいかに利用するか、コスト削減の行動指針に沿って川上部分で知恵を出すことで6%の削減ができる。「密な調査」で「過大な設計」の回避は可能であり、調査内容を理解し調査方法を勉強してもらうことが望ましいとの話もあって「地質調査の重要性」を協調しておりました。

今回の赤本改訂内容のポイントは今まで手作業積算であった点をかなりの部分を電算化処理で行うようになった、コストダウン化が計られている現状にあわせている点、特に土質試験等は人件費の省力化を計っている他歩掛り見直し、新工法の掲載を積極的に行ったとの説明でした。

特に、「阪神淡路大震災」以降は新調査手法の技術、歩掛りを多く求められ、改訂版はそれらも掲載しており、業務の作業内容が判るように現場写真（カラー）を加えている点も特徴です。

それから内容の充実した赤本の主要な改訂点の

詳細説明に移り、参加者全員が講師の説明に真剣に耳を傾けておりました。

赤本の説明の後は平成9年度に改訂した工事編(青本)特に大孔径ボーリングについての説明が行われ、最後まで熱心に講師の話に聞き入っており3時間はあっと云う間に経過した感じがした。

5月8日 岩手会場「国保会館」PM13:00～16:00

前日の青森とは違い朝から雲が垂れこめた今にも雨が降りそうな天候……。

参加名簿を見ると遠方からの参加者も多く見受けられ天候が心配されるのだが、昼過ぎには青空が顔を出し始め関係者も一安心した感じでした。

3年前にも同じ会場で説明会が行われたこともあって、「岩手県地質調査業協会」関係者も説明会の準備を手際良く処理し各発注機関、関係業者約130名を越える大勢の参加を受け会場も満員の状態で説明会を開催することができました。

永井理事長の挨拶に始まり、地元「岩手県地質調査業協会」湯沢会長の挨拶があり、続いて「講師矢島専務理事」の説明に入り青森県での説明会同様に改訂版赤本の経緯や内容の詳細な説明に大半の時間を掛けた後、工事編の説明も行われ参加

者全員が最後まで真剣に説明に聞き入っておりました。

今回の全国積算資料説明会に2日間同行して強く感じた事は、説明会に参加された各発注機関、関係業者の方々の真剣な聴講と改訂された積算資料の内容が大変判り易く、カラー写真入りで現場作業状況が十分に把握できる等「改訂版資料」を作成した全地連の関係者のご苦勞が強く感じ取る事ができました。

又、青森、岩手県の各協会関係者の説明会開催に際し、数多くの方々の事前の準備とご協力を仰ぎ当初の予想以上の立派な説明会が実行できた事に当積算委員会として深く感謝申し上げます。

尚、時間の関係で質問事項を受ける暇がありませんでしたが内容については各協会又は全地連の方にどんな些細な事でも結構ですのでお問い合わせください誠意をもってご解答申し上げます。

参考までに全地連ではインターネット、ホームページがありますので直接質問も受け付けておりますのでご利用ください。

アドレス www.zenchiren.or.jp

今回の説明会に関係された皆様には大変ご苦勞さまでした。平成11年度は宮城、福島県の予定です。

